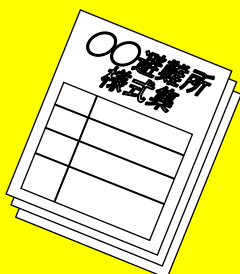


避難所運営マニュアル



様式集

○ 本書は、袋井市内で避難所を運営する際に、活用して欲しい様式例を取りまとめたものです。

使用する際には、地域や避難所となる施設の実情に合わせて内容を見直し、適宜追加・修正する必要があります。

○ 本書は、**避難所運営マニュアル**、**資料集**とセットでお使いください。

○ 様式集は、袋井市ホームページからダウンロードできます。

いつでも使うことができるよう

様式を印刷しておき、

筆記用具やファイル類とともに

避難所に備えておきましょう

様式集〈目次〉

1. 安全点検

- 安－１ 震災後の余震に備えた緊急点検チェックリスト

2. 総務班

- 総－１ 避難所開設・運営のための緊急連絡先
- 総－２ 避難所でのルール
- 総－３ 避難所運営本部会議等名簿
- 総－４ 避難所利用者でつくる班分け表
- 総－５ 避難所運営日誌
- 総－６ 避難所状況報告（初動期）
- 総－７ 避難所状況報告（第 報）
- 総－８ 取材・調査受付票
- 総－９ 避難所内で取材・調査をされる方へ
- 総－10 受付メモ
- 総－11 支援受け入れ一覧表
- 総－12 避難所利用者実態調査

3. 受付班

- | | |
|-------|----------------|
| 受-1-1 | 避難所利用者登録票（初動期） |
|-------|----------------|
- | | |
|-------|-----------|
| 受-1-2 | 避難所利用者登録票 |
|-------|-----------|
- | | |
|-----|----------|
| 受-2 | ペット飼育者名簿 |
|-----|----------|
- | | |
|-----|-------------|
| 受-3 | ペットの飼育管理ルール |
|-----|-------------|
- | | |
|-----|-----|
| 受-4 | 退所届 |
|-----|-----|
- | | |
|-----|----------------|
| 受-5 | 避難所利用者名簿（手書き用） |
|-----|----------------|
- | | | |
|-----|----------|-----|
| 受-6 | 避難所利用者名簿 | 公開用 |
|-----|----------|-----|

4. 食料・物資班

- | | |
|-----|-------|
| 食-1 | 食料受入簿 |
|-----|-------|
- | | |
|-----|----------------|
| 食-2 | 食料ごとの受入・配布等管理簿 |
|-----|----------------|
- | | |
|-----|-------|
| 食-3 | 食料管理表 |
|-----|-------|
- | | |
|-----|-------|
| 食-4 | 物資受入簿 |
|-----|-------|
- | | |
|-----|----------------|
| 食-5 | 物資ごとの受入・配布等管理簿 |
|-----|----------------|
- | | |
|-----|-------|
| 食-6 | 物資管理表 |
|-----|-------|

5. 保健・衛生班

- | | |
|-----|------------------|
| 保-1 | トイレ使用上の注意（既存トイレ） |
|-----|------------------|
- | | |
|-----|------------------|
| 保-2 | トイレ使用上の注意（仮設トイレ） |
|-----|------------------|

6. ボランティア班

ボ－１ ボランティア受付票

ボ－２ ボランティアの皆様へ

7. その他

そ－１ 避難所の設備、備蓄物資一覧表

そ－２ 個別引き継ぎ事項

安-1 震災後の余震に備えた緊急点検チェックリスト 屋内運動場（体育館）用

整理番号 _____

調査日	年	月	日	時間	午前 / 午後	時
調査者				登録番号		
建物概要	施設名称				建築物名称	
	所在地				建築年	(西暦) 年
	建物用途					
	構造種別	純鉄骨造 / 鉄骨と RC の混合構造（層内・層別） / RC 造に鉄骨屋根 その他（)				
	階数	地上		階	地下	
	建築面積	m ²		延床面積	m ²	
調 査						
方法	内観調査を実施					
1 一見して危険と判定される（該当する場合は○をつけ危険と判定し調査を終了する）						判定結果
☐ 建築物全体又は一部の崩落・落階がある						施設が危険な状態
☐ 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれがある						
☐ 建築物全体又は一部の著しい傾斜がある						
2 全体の状況に関する点検項目						判定結果
☐ 隣接する建物や周辺地盤による破壊の危険性（崖崩れなど）がある						施設が危険又は注意を要する状態
☐ 建物が多少なりとも傾斜している						
☐ 柱や梁に構成要素が曲がる現象（座屈）が発生している						
☐ 筋交いにたわんでいるもの、あるいは破断しているものがある						
☐ 柱と梁の接合部が一部破断している、接合部に亀裂が発生している						
☐ 柱脚が部分的にでも破損している						
☐ 高所からコンクリート片が落下した、あるいは落下しかかっている						
☐ 鉄筋コンクリートの部分に比較的大きなひび割れ（幅 2 mm 程度）が見られる						
☐ 鉄骨部材に著しい腐食が見られる						
☐ 窓ガラス・窓枠にひび割れが見られる、窓枠がひずみスムーズに開閉できない						
☐ 外装材や内装材にひび割れや隙間が見られる						
☐ 屋外階段やひさしがわずかに傾斜あるいは移動している						
☐ 照明や吊り物が部分的にずれている						
☐ 天井裏を目視できる場合に天井ブレースにたわんでいるものや破断したものがある						
☐ その他、異常が見られる						
3 つり天井に関する点検項目						判定結果
☐ 天井の一部でも落下または落下しそうな状態である						施設が危険な状態
☐ 天井の周囲または段差に破損がある※						
☐ 天井が部分的にずれている※						

※落下防止対策がなされている場合の判定結果は「施設が危険又は注意を要する状態」

文部科学省「学校施設における天井等落下防止対策のための手引」（平成 25 年 8 月）を参考に作成

安-1 建物の構造別チェックシート

大規模地震発生直後における施設管理者等による建物の緊急点検に係る指針（内閣府）より

鉄骨造（S造）

【災害時調査シート】《第2次 項目チェック》作成日時：平成____年____月____日____時____分

第2次 余震による危険性の調査

(2) 鉄骨造建築物、RC造建築物及びRC造躯体

調査項目	写真例	はい（○） いいえ（×）	○の項目は危険 な状態にある
① 避難建築物や太い電柱等が避難建築物の方へ倒れそうである。			危険なため 建物の使用不可
② 避難建築物の方へ倒れそう な建物や山崩れがある。			危険なため 建物の使用不可
③ 窓枠が歪み、又は壊れている。			危険なため 建物の使用不可
④ 避難建築物全体、又は一部が 傾いている。 （建築物が壁から破損し、各層を 貫通している状態）			危険なため 建物の使用不可
⑤ 傾いている壁があり、その壁 が壁面、又は上層が1層 のみの場合、その壁の柱の 傾きが1/100以上ある。 （下層の壁を利用し、上層を 支えている状態）			危険なため 建物の使用不可
⑥ 傾いている壁があり、その壁 の上層が2層以上の場合、そ の壁の柱の傾きが1/100以上 ある。 （下層の壁を利用し、上層を 支えている状態）			危険なため 建物の使用不可

※「危険なため使用不可」と判断された項目がない場合は（全て「はい（○）、いいえ（×）」）は、第2次 余震による危険性の調査へ移行する。
1つでも「いいえ（×）」がある場合は建物の使用不可。

施設名称：_____
記入者：（所属）_____
連絡先：_____

鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造（RC・SRC造） （低層・ラーメン構造）

【災害時調査シート】《第1次 項目チェック》作成日時：平成____年____月____日____時____分

第1次 外部から一見して危険かどうかの調査

(1) 外部から一見して危険と判断される

調査項目	被害例	はい（○） いいえ（×）	○の項目は危険 な状態にある
1 避難建築物全体、又は一部が破損 している。 もしくは、1層、又は2層以上の階 層が崩れている。			危険なため 建物の使用不可
2 避難建築物の基礎が、崩壊している。 又は、上部構造と基礎がずれている。			危険なため 建物の使用不可
3 避難建築物全体、又は一部が傾斜 しているのがわかる。			危険なため 建物の使用不可
4 隣接建物や地盤等が崩れ、 避難建築物を破壊している。			危険なため 建物の使用不可
5 隣接建築物が崩れ落ち、 避難建築物を破壊している。			危険なため 建物の使用不可
6 隣接建築物から落物（窓枠や外 壁、看板、屋外機器等）が落下 して避難建築物を破壊（破損） している。			危険なため 建物の使用不可

※「危険なため使用不可」と判断された項目がない場合は（全て「はい（○）、いいえ（×）」）は、第2次 余震による危険性の調査へ移行する。

施設名称：_____
記入者：（所属）_____
連絡先：_____

<注意>

本書は、チェックシートのイメージです。

チェックシートは建物の構造や階層によって異なります。

避難所となる施設の構造等に合わせたシートを、

内閣府のWeb ページから予めダウンロードしご利用ください。

内閣府「大規模地震発生直後における施設管理者等による建物の緊急点検に係る指針」のWeb ページ

<http://www.bousai.go.jp/jishin/kitakukonnan/index.html>

総-1 避難所開設・運営のための緊急連絡先

避難所となる施設	名称				
	住所				
	連絡先	TEL		FAX	
避難所を利用する人が居住する地域や地区名				利用者数 (想定)	人
避難所を開設する担当者	平日の昼間 (8:45~17:30)			TEL	
	上記以外 (夜間・休日等)			TEL	
その他、施設の鍵を持っている人				TEL (メール・SNS)	
				TEL (メール・SNS)	
その他、避難所の開設に関係する人 (地域の自治組織の役員や 自主防災組織の長など)				TEL (メール・SNS)	
				TEL (メール・SNS)	
				TEL (メール・SNS)	
				TEL (メール・SNS)	
				TEL (メール・SNS)	

避難所周辺の施設

福祉避難所		TEL		FAX	
		TEL		FAX	
		TEL		FAX	
病院		TEL		FAX	
		TEL		FAX	
		TEL		FAX	
消防署・消防団		TEL		FAX	
		TEL		FAX	
警察署		TEL		FAX	
電気		TEL		FAX	
ガス		TEL		FAX	
上下水道		TEL		FAX	

袋井市災害対策本部の連絡先

名称				
住所				
連絡先	TEL		FAX	

ひ な ん じ ょ 総-2 避難所でのルール

避難所

避難所を利用される方は、以下のルールを守るよう心がけるとともに、避難所運営にご協力ください。



せいかつじかん 生活時間



きしょうじかん
起床時間：6：00



あさ しょく
朝食：7：30



ひる しょく
昼食：12：00



ゆう しょく
夕食：18：00



しょうとうじかん
消灯時間：22：00

ほんぶうんえいかいぎ
※本部運営会議

7：00 / 20：00



きほんじこう 基本事項



たてものない きんしゅ きんえん
・建物内は禁酒、禁煙。



たてものない どぞくきんし か きげんきん
・建物内は土足禁止、火気厳禁。



たちいりをせいげんしたへや たちいりきんし
・立ち入りを制限した部屋に立入禁止。



しょくりょう ぶつし げんぞく ほん はいきゅう
・食料や物資は、原則、班ごとに配給します。



ひなんじょない しず ある しず せいかつ
・避難所内は静かに歩き、静かに生活します。



けいたいでんわ
・携帯電話はマナーモードにして下さい。

きょうよう もの お くだ
・共用スペースに物を置かないで下さい。

た ひなんしゃ りかい きょうりょく
・ペットは、他の避難者の理解と協力のもと、

か めし せきにん しいく くだ
飼主が責任をもって飼育して下さい。



ねが お願い

ひなんじょ ちいき ぼうさいきょてん
・この避難所は、地域の防災拠点です。

ひなんじょがい ばしょ たいざい ひさいしゃ ふく せいかつしえん おこな
(避難所以外の場所に滞在する被災者も含めた生活支援を行います。)

ひなんじょ ひなんじょ りょう ひとぜんいん きょうりょく うんえい
・避難所は、避難所を利用する人全員が協力して運営します。

ひなんじょ でんき すいどう ぶつきゅう あと ひさいしゃ ざいたくせいかつ けいぞく
・この避難所は、電気・水道などライフラインが復旧した後、被災者の在宅生活の継続が

かのう かくにん へいさ
可能か確認し、すみやかに閉鎖します。

ひなんじょうんえいほんぶかいぎとうめいぼ
総-3 避難所運営本部会議等名簿

年 月 日現在

ほんぶちょう 本部長		
ふくほんぶちょう 副本部長		
ぎょうせいたんとうしゃ 行政担当者		
しせつかんりしゃ 施設管理者		

かつどうはん
（活動班） はんちよう 班長に◎、ふくはんちよう 副班長に○をきにゅう 記入する

はんめい 班名	しめい 氏名	はんめい 班名	しめい 氏名	はんめい 班名
そうむはん 総務班				
うけつけはん 受付班				
じょうほうはん 情報班				
しょくりよう ぶつしはん 食料・物資班				
しせつかんりはん 施設管理班				
ほけん えいせいはん 保健・衛生班				
ようはいりよしやはん 要配慮者班				
ボランティアはん ボランティア班				

きょじゅうはん
（居住班） ひなんじょういがい ぼしよ たいざい ひと はん はんちよう ふくはんちよう
 （避難所以外の場所に滞在する人で行く班を含む）の班長・副班長

はんめい 班名	はんちよう しめい 班長の氏名	ふくはんちよう しめい 副班長の氏名	はんめい 班名	はんちよう しめい 班長の氏名	ふくはんちよう しめい 副班長の氏名

総-4 避難所利用者でつくる班分け表

[illegible]

総-5 避難所運営日誌				避難所名		
年 月 日（ ） 天気				記入者		
避難所利用者数	区分		前日までの数 (a)	新規登録者数 (b)	退所者数 (c)	利用者数 (a+b-c)
	避難所に 受け入れた者	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯
		人	人	人	人	人
	避難所以外の 場所に滞在す る被災者	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯
		人	人	人	人	人
	合計	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯
		人	人	人	人	人
食料・ 物資の 受入	区分		朝	昼	夜	合計
	食料の配布数		食	食	食	食
	食料の内容(弁当等)					
	食料・物資の受入・配布の状況					
ボラン ティア の受入	ボランティアの受け入れ人数		人			
	ボランティアの活動内容					
避難所運営委員会の協議・伝達事項						
その他						

※「避難所内に受け入れた者」には、車中・テント生活者を含む。

※被害の状況や生活の様子写真を添付

総-6 避難所状況報告書(初動期)

送信先：袋井市災害対策本部

TEL

FAX

避難所		ふりがな 避難所名 住所 TEL FAX		
項 目		第 1 報(参集後すぐ)	第 2 報(3 時間後)	第 3 報(6 時間後・閉鎖)
送信者名				
報告日時		月 日() :	月 日() :	月 日() :
避難種別		指示・高齢者等・自主	指示・高齢者等・自主	指示・高齢者等・自主
利用可能な連絡手段		FAX・電話・他()・伝令	FAX・電話・他()・伝令	FAX・電話・他()・伝令
避難者	人数	人	人	人
	世帯数	世帯	世帯	世帯
	今後の見込み	増加・減少・変化なし	増加・減少・変化なし	増加・減少・変化なし
建物の安全確認		未実施・安全・要注意・危険	未実施・安全・要注意・危険	未実施・安全・要注意・危険
傷病者等		なし・あり()人・不明	なし・あり()人・不明	なし・あり()人・不明
人命救助		不要・必要()人・不明	不要・必要()人・不明	不要・必要()人・不明
周辺状況	火災	なし・延焼中(約 件)・大火の危険	なし・延焼中(約 件)・大火の危険	なし・延焼中(約 件)・大火の危険
	土砂崩れ	なし・あり(約 件)・未発見	なし・あり(約 件)・未発見	なし・あり(約 件)・未発見
	ライフライン	断水・停電・ガス停止・電話不通	断水・停電・ガス停止・電話不通	断水・停電・ガス停止・電話不通
	道路	通行可・渋滞・片側通行・通行不可	通行可・渋滞・片側通行・通行不可	通行可・渋滞・片側通行・通行不可
	建物倒壊	ほとんどなし・あり(約 件)・不明	ほとんどなし・あり(約 件)・不明	ほとんどなし・あり(約 件)・不明
避難所以外の支援拠点		なし・あり(場所)	なし・あり(場所)	なし・あり(場所)
参集者	行政担当者			
	施設管理者			
緊急を要する事項など (具体的に箇条書き)				
受信者名 (災害対策本部)				

- ・第 1 報(参集後すぐ)、第 2 報(3 時間後)、第 3 報(6 時間後または閉鎖時)は、同じ用紙に記入。
- ・報告は袋井市災害対策本部あてFAXで送信する。FAXが使用できないときは、伝令などで連絡する。
- ・人命救助や周辺状況の詳細は「緊急を要する事項」に記入する。
- ・「世帯数」は、避難所利用者登録票の枚数による回答も可能。

総-7 避難所状況報告書〔第 報〕

送信先：袋井市災害対策本部

TEL

FAX

避難所	ふりがな 避難所名 住所 TEL FAX				報告日時	月 日 () :		
避難所利用者数	区分		現在数 (A)		前日数 (B)		差引 (A-B)	
	避難所内に受け入れた者※	世帯数	世帯		世帯		世帯	
		人数	人		人		人	
	避難所以外 の場所に滞在する者	世帯数	世帯		世帯		世帯	
		人数	人		人		人	
	合計	世帯数	人		人		人	
人数		世帯		世帯		世帯		
食料	区 分		朝		昼		夜	
	食料の給与数		食		食		食	
	食料の主な内容							
運営状況	居住班	編成	済 ・ 未編成		班数	計 班(避難所内 班+外 班)		
	避難所運営本部	設置	済 ・ 未設置		役員	会長 人、副会長 人(うち女性 人)		
	活動班	設置	済 ・ 未設置					
	在宅避難者等 支援施設	設置	済 ・ 未設置		主な場所			
連絡事項	連絡元		要望など					
	避難所運営本部							
	行政担当者							
	施設管理者							
ライフライン	電 気	□通電 □停電 (: 現在)			電 話	□可能 □不能 (: 現在)		
	水 道	□通水 □断水 (: 現在)			F A X	□可能 □不能 (: 現在)		
	ガ ス	□可能 □不能 (: 現在)				□ □ (: 現在)		
特記事項								

※「避難所内に受け入れた者」には、車中・テント生活者を含む。

総-8 取材・調査受付票

受付日時			退所日時		
年 月 日 () 時 分			年 月 日 () 時 分		
代表者	所 属				
	氏 名				
	連絡先（住所・電話番号）				
同行者	所 属		氏 名		
取材・調査の目的	※オンエア、記事掲載などの予定日： 年 月 日 ()				
避難所記載欄	避難所側付添者				
	特記事項				
〈名刺添付場所〉					

総-9 避難所内で取材・調査をされる方へ

避難所内では、以下の点にご注意くださるようお願いいたします。

- 1 避難所内では身分を明らかにしてください。
避難所内では、胸や上腕の見えやすい位置に必ず「取材者バッジ」や「腕章」を着用してください。
- 2 避難者のプライバシーの保護にご協力ください。
 - （1）避難所内では、担当者の指示に従ってください。
 - （2）原則として見学できる部分は、避難所の共有部分のみです。避難所利用者が生活している場所や、避難所の施設として使用していない場所への立入は禁止します。
 - （3）避難所内の撮影や避難所利用者へインタビューする場合には、必ず本人及び担当者の許可をとってください（未成年者の場合、保護者等の許可が必要）。特に避難所利用者の了解なしに、勝手にインタビューを行ったり、カメラを向けたりすることは慎んでください。
- 3 取材に関する問い合わせは避難所運営本部へお願いします。
 - （1）取材を行う場合は、総合受付で「取材・調査受付票」に必要事項を記入し提出してください。
 - （2）本日の取材内容に関する放送日や記事発表の予定に変更が生じた場合には、下記の連絡先までご連絡ください。また、本日の取材に関する点などにつきましても同様に下記連絡先へお問い合わせください。

（連絡先）

避難所名 _____

担当者名 _____

電 話 （ ） — _____

総-10 受付メモ

受付日時	年 月 日 () :	記入者	
相手方			
要 旨 (苦情・相談・ 要望などの内 容を簡潔にま とめる)			
対 応			
備 考			

総-11 支援受け入れ一覧表

[illegible]

ひなんじょりようしゃじったいちょうさ 総-12 避難所利用者実態調査

聴取日	年 月 日
聴取者	

① ひなんしょりようしゃじょうほう 避難所利用者情報

氏 名	年齢	運転免許	特筆事項(障がい・持病など可能性も含)	つなぎ先(済・未定)
氏 名 (居住班名)			① 介護認定 要支援(1/2)、要介護(1/2/3/4/5) ② 身体障害者手帳(1～6級) ③ 療育手帳(A/B) ④ 精神障害者保健福祉手帳(1～3級) ⑤ 自立支援医療費受給者 (精神通院/更生医療/育成医療) ⑥ その他() ※難病など含む	A 避難所巡回保健師 B 病院(病院名) C 社会福祉協議会 D 包括支援センター E ケアマネージャー F ケースワーカー G その他
世帯主	(ふりがな)	あり なし 有・無		
ご家族		あり なし 有・無		
		あり なし 有・無		
		あり なし 有・無		
		あり なし 有・無		

② ひさいじょうきょう 被災状況 【 持ち家：(住宅ローン 有・無) アパート・借家 親戚・知人宅 】

被害の程度(り災証明書)	現在の状況
□ 家屋全壊 □ 大規模半壊 □ 半壊 □ 一部損壊 □ その他()	□撤去完了 □撤去ほぼ完了 □未着手 □その他() □修理完了 □片付け完了 □片付け中 □未着手 □その他()

その他(被災状況に関するメモ(被災状況に加え、負傷、疾患などの症例があれば記入して下さい))

(例：水道、電気、ガス、未復旧)

③ 避難所滞在時間（主な滞在時間について）	
時間帯	理由（ ）内は世帯主から見た対象者を記入
☐ 毎日終日滞在 まいにちしゅうじつたいざい	☐ () 行く所が無い ☐ () 移動手段が無い ☐ () 一人で動けない いところ な いどうしゅだん な
☐ 毎日夜間のみ まいにちやかん	☐ () 仕事をしている ☐ () 学校に行っている ☐ () 家屋他片付け ☐ () 施設に行っている ☐ () その他【 】 しごと がっこう い かおくほ かかたづ しせつ い
☐ 毎日日中のみ まいにちにつちゅう	☐ () 夜間仕事をしている ☐ () 食事時のみ利用 ☐ () 仕事休み利用 ☐ () その他【 】 やかんしごと しょくじとき りよう しごとやす りよう た
☐ その他 た	☐ () : 【 】 ☐ () : 【 】 ☐ () : 【 】
④ 現在の状況・心配事・支援ニーズについて	
※避難所生活上での不安（ニーズ）があった場合には右欄にその内容と（ ）内に対象者を記入してください	
場面	内容（ ）：対象者
☐ 生活・暮らし せいかつ く ☐ 心配はない しんぱい ☐ 不安（⇒右欄へ） ふあん みぎらんへ	☐ 移動手段（自家用車）の確保ができない（ ） いどうしゅだん じかようしゃ かくほ 【今は ☐ 公共交通機関 ☐ 自家用車 ☐ 自転車 ☐ 移動支援（ボランティア） ☐ 自動二輪車】 いま こうきょうこうつうきかん じかようしゃ じてんしゃ いどうしえん じどう にりんしゃ ☐ 食事について心配あり（ ） しょくじ しんぱい ☐ 必要な支援ニーズ（ ）【 】 ひつよう しえん
☐ 仕事 しごと ☐ 心配はない しんぱい ☐ 不安（⇒右欄へ） ふあん みぎらんへ	☐ 仕事（職場）が無くなった（ ） ☐ 元の事業ができなくなった（ ） ☐ その他（ ）【 】 ☐ 必要な支援ニーズ（ ） 【 ☐ 仕事の斡旋 ☐ 事業（再建）資金の融資 ☐ 設備等の助成資金（農業従事者/自営業者等対象） ☐ その他（ ）】
☐ 子育て・養育 こそだて よういく ☐ 心配はない しんぱい ☐ 不安（⇒右欄へ） ふあん みぎらんへ	☐ 幼児を預ける先が無い（ ） ☐ 通学手段が確保できない（ ） ようじ あ ず さき な つうがくしゅだん かくほ ☐ 現在通学中の学校に通えなくなる（ ） げんざいつうがくちゅう がっこう かよ ☐ その他（ ）【 】 ☐ 必要な支援ニーズ（ ）【 】 ひつよう しえん
☐ 医療・福祉 いりよう ふくし ☐ 心配はない しんぱい ☐ 不安（⇒右欄へ） ふあん みぎらんへ	☐ 保健師巡回時に診断を受けている（ ） ほけんしじゅんかいじ しんだん う ☐ 通院している（ ）（疾患： ） つういん しっかん ☐ 介護等の施設を利用している（ ） かいごとう しせつ りよう ☐ 障がい者・高齢者等の施設へ入居・通所ができない（ ） しょう がいしゃ こうれいしゃとう しせつ にゅうきょ つうしょ ☐ その他（ ）【 】 ☐ 必要な支援ニーズ（ ）【 】 ひつよう しえん
☐ その他 た ☐ 心配はない しんぱい ☐ 不安（⇒右欄へ） ふあん みぎらんへ	

⑤ 避難所退所のための環境整備について ※退所の見通しについて

☐ 月 日頃退所予定	退所後住所： 【理由】 ☐ 住宅の新築・修理 ☐ 住宅の片づけ ☐ 水道・電気・ガスが未復旧 ☐ 被害が不明 ☐ 町内の賃貸住宅が見つからない ☐ 経済的に厳しい ☐ その他（ ）
-----------------------------------	---

⑥ 退所後に予測される心配事・支援ニーズについて

住宅（居宅） 事情	内 容		
す 住まいの さいけんさく 再建築	☐ 自宅の新築	☐ 自己資金で新築する ☐ 自己資金不足（無し）⇒ ☐ ローン借入可 ☐ 見通しが立っていない ☐ 支援策を活用する ☐ 被災者生活再建支援制度 ☐ 災害援護資金貸付金	工事見通し ☐ 着工済み ☐ 契約済み ☐ 見積り中 予定時期 月 日
	☐ 自宅の修理	修理部分（ ☐ 台所 ☐ 風呂 ☐ 居間 ☐ 寝室） ⇒ ☐ 自己資金で修理する。 ☐ 自己資金不足（無し）⇒ ☐ ローン借入可 ☐ 見通しが立っていない ☐ 支援策を活用する ☐ 被災者生活再建支援制度 ☐ 災害援護資金貸付金 ☐ 災害救助法に基づく住宅の応急修理 ※住宅の応急修理は半壊以上が対象、半壊の場合は資力要件あり	工事見通し ☐ 着工済み ☐ 契約済み ☐ 見積り中 予定時期 月 日
	☐ 借家	☐ 申込み済み 入居予定日 月 日 ☐ 検討中（今後の見通し： ）	

かりず 仮住まいの 意向	自宅などの ^{じたく お} 落ち着き先が決定するまでの間、 ^{あいだ いちじてき} 一時的な住居への ^{じゅうきょ にゆうきょ} 入居を、 ⇒ ☐ ^{きぼう} 希望する ☐ ^{きぼう} 希望しない ☐ ^{きぼう} どちらでもない 【希望する】 ^{きぼう} を選択した ^{せんたく} 場合 ^{ばあい} ☐ ^{けん ようい} 県で用意した ^{こうえいじゅうたくにゆうきょきぼう} 公営住宅入居希望 ☐ ^{じまえ みんかんちんたいじゅうたくきぼう} 自前で民間賃貸住宅希望（ ^{しんない} 市内・ ^{しがい} 市外） ☐ ^{かせつじゅうたくきぼう} 仮設住宅希望（ ^{けつていず} 決定済み・ ^{もうしこ} 申込み済み・ ^{もうしこ} 申込み未） ☐ ^{かせつじゅうたくきぼう} みなし仮設住宅希望（ ^{けつていず} 決定済み・ ^{もうしこ} 申込み済み・ ^{もうしこ} 申込み未） ☐ ^た その他（ ） 【希望しない・どちらでもない】 ^{きぼう} を選択した ^{せんたく} 場合 ^{ばあい} ^{りゆう} 理由（ ^{きさいいい} 記載例： ^{じゅうたく} 住宅の ^{しゅうりかんりょう} 修理完了まで ^{しんるいたく} 親類宅に ^{きょじゅうよてい} 居住予定） 【
	^{じょうき} 上記の ^{じょうけん} 条件を満たすために必要な ^み 支援（ ^{ひつよう} ニーズ）について ☐ ^{しきんてきえんじょ} 資金的援助 ☐ ^{てつづ} 手続き等の ^{だいこう} 代行 ☐ ^{そうだんしゃ} 相談者の ^{そんざい} 存在 ☐ ^{かりず} 仮住まいの ^{そうきけつてい} 早期決定 ☐ ^{けんちく} 建築・ ^{しゅうりとう} 修理等の ^{いらいさき} 依頼先の ^{かくほ} 確保 ☐ ^{てきじてきとう} 適時適当な ^{じょうほうていきょう} 情報提供 ☐ ^{せつめいかいとう} 説明会等の ^{かいさいひんど} 開催頻度を ^{おお} 多くする ☐ ^た その他【

しんぱいごと 心配事/ニーズ	ニーズ・サポート	つなぎ先・ ^{さき} 対処方法 ^{たいしよほうほう}
せいかつく 生活・暮らし ☐ ^{しんぱい} 心配はない ☐ ^{ふあん} 不安（⇒右欄へ）	☐ ^{しょくじ} 食事が ^{じゅうぶん} 十分に ^と 取れない ☐ ^{いどうしゅだん} 移動手段が ^な 無い ☐ ^{れいぞうこ} 冷蔵庫・ ^{せんたくき} 洗濯機・ ^{くうちょう} 空調など ^{でんかせいひん} 電化製品が ^な 無い ☐ ^{にゅうよく} 入浴できない ☐ ^{でんき} 電気・ ^{すいどう} ガス・ ^{みふつきゅう} 水道が ^な 未復旧 ☐ ^た その他【	
いりようふくし 医療・福祉 ☐ ^{しんぱい} 心配はない ☐ ^{ふあん} 不安（⇒右欄へ）	☐ ^{いし} 医師・ ^{かんごし} 看護師の ^{じゅんかい} 巡回が ^な 無い ☐ ^{けんこうそうだん} 健康相談が ^な できない ☐ ^{しんぱい} メンタルケアが ^な されない ☐ ^{いりようひ} 医療費が ^{はら} 払えない ☐ ^{しせつ} 施設へ ^{にゅうきょ} 入居・ ^{つうしよ} 通所が ^な できない ☐ ^た その他【	
コミュニティ ☐ ^{しんぱい} 心配はない ☐ ^{ふあん} 不安（⇒右欄へ）	☐ ^こ 孤立への ^{ふあん} 不安 ☐ ^{きん} 近所に ^な 人がいない ☐ ^{へいあん} 保安・ ^{けいび} 警備に ^{ふあん} 不安 ☐ ^{しんぱい} 相談相手が ^な いない【 ^{ぐたいてき} 具体的に：	
じょうほう 情報 ☐ ^{しんぱい} 心配はない ☐ ^{ふあん} 不安（⇒右欄へ）	☐ ^{ぎょうせい} 行政からの ^{しえん} 支援に関する ^{かん} 情報を ^{じょうほう} 適時 ^{てきじう} 受け取る ^と ことができない ☐ ^{ぎょうせいいがい} 行政以外からの ^{しえん} 支援情報 ^{じょうほう} を得 ^え られない ☐ ^た その他【	
その他 ☐ ^{しんぱい} 心配はない ☐ ^{ふあん} 不安（⇒右欄へ）		

【所見；記入者：_____】

※本調査票は、熊本県上益城郡嘉島町が H28 熊本地震の際に、避難所閉鎖に向けて行った調査で実際に使用したものを参考に作成しました。

受-1-1		避難所利用者登録票		避難所名				受番		付号	
記入日		年		月		日		()		記入者氏名	
氏名		生年月日・年齢		性別		住所		連絡先（携帯等）		住所・氏名・年齢の開示	
世帯主	(ふりがな)	大/昭/平/令/西暦						()		同意します	
		とし 年 つき 月 ひ 日						—		・ どうい 同意しません	
家族	(ふりがな)	大/昭/平/令/西暦						()		同意します	
		とし 年 つき 月 ひ 日						—		・ どうい 同意しません	
	(ふりがな)	大/昭/平/令/西暦						()		同意します	
		とし 年 つき 月 ひ 日						—		・ どうい 同意しません	
	(ふりがな)	大/昭/平/令/西暦						()		同意します	
		とし 年 つき 月 ひ 日						—		・ どうい 同意しません	
	(ふりがな)	大/昭/平/令/西暦						()		同意します	
		とし 年 つき 月 ひ 日						—		・ どうい 同意しません	
	(ふりがな)	大/昭/平/令/西暦						()		同意します	
		とし 年 つき 月 ひ 日						—		・ どうい 同意しません	
	(ふりがな)	大/昭/平/令/西暦						()		同意します	
		とし 年 つき 月 ひ 日						—		・ どうい 同意しません	
(特に配慮してほしい事項があれば記載して下さい)											

※ 本登録票は、災害発生直後の混乱期に、早急に避難所利用者の把握を行うための簡易様式です。

※ 安否確認に活用しますので、住所・氏名・年齢の開示欄を必ず記入してください。性別欄については記入は任意です。

※ 避難者数が落ち着いてきたら、様式〔避-1-2〕により、避難所利用者の個別状況を把握し、避難所運営に活用しましよ

受-1-2		避難所利用者登録票		避難所名		受番		付号		《運営側（受付担当）記入用》																	
記入日		年 月 日 ()		記入者氏名						受入先・滞在先		場所		□避難所 □テント（避難所敷地内に設営） □車両（避難所敷地内に駐車） □避難所以外の場所（自宅／その他（ ））													
住所		〒 -		自治会						組名																	
自宅の被害状況		□自宅が倒壊または流出 (住むところがない) ※自宅は持ち家、賃貸、社宅を含む								その他特記事項																	
FAX		() -		避難所		□避難所 □テント（避難所敷地内に設営） □車両（避難所敷地内に駐車） □避難所以外の場所（自宅／他（ ））				●転出・退出後																	
連絡先（親戚など）		〒 -		滞在を希望する場所						退所届		受付日		年 月 日 ()													
		() -								受番号																	
避難所を利用する人（避難所以外の場所に滞在する人も記入）										個人の状況																	
氏名		生年月日・年齢		性別		病気		妊産婦		乳幼児		障がい者		要介護		医療機器		アレルギー		特に配慮が必要なこと		運営に協力できること		住所・氏名・年齢			
世帯主		(ふりがな)		明/大/昭/平/西暦 年 月 日 (歳)								身体		療育		精神										同意します 同意しません	
家族		(ふりがな)		明/大/昭/平/西暦 年 月 日 (歳)																						同意します 同意しません	
		(ふりがな)		明/大/昭/平/西暦 年 月 日 (歳)																						同意します 同意しません	
		(ふりがな)		明/大/昭/平/西暦 年 月 日 (歳)																						同意します 同意しません	
		(ふりがな)		明/大/昭/平/西暦 年 月 日 (歳)																						同意します 同意しません	
		(ふりがな)		明/大/昭/平/西暦 年 月 日 (歳)																						同意します 同意しません	
ペットの状況		□飼っていない □飼っている⇒右欄へ		種類（頭数）		□同伴希望（ペット飼育者名簿に記入）		留意見事項		・世帯（家族）ごとに記入して、受付に提出してください。 ・ご記入いただいた情報は、食料や物資の配給、健康管理の支援など、避難所運営のために 必要最低限の範囲で共有します。また、市町災害対策本部にも提出し、被災者支援のために																	
自家用車（避難所に駐車する場合）		車種		色		ナンバー																					

しいくしゃめいぼ

受-2 ペット飼育者名簿

■ペットスペースにペットを移動する前に、必ず記入してください。

うけつけ 受付	にゅうしょび 入所日	たいしょび 退所日	かぬししめい 飼い主氏名	なまえ ペット名前	ペット しゅるい 種類	せいべつ 性別	いろおお 色・大きさ	きょうけんびょうよほうちゅうしゃなど 狂犬病予防注射等 しゅゆうしゃめいじ 所有者明示	ひなんばしょ 避難場所	けいたいでんわ 携帯電話
れい (例)	12/2	12/9	静岡一郎	ポチ	犬	雄・雌・不妊・去勢	白・中型	登録、注射済 マイクロチップ有	体育館 富士地区	〇〇-△△
1	/	/				おすめすふにんきよせい 雄・雌・不妊・去勢				
2	/	/				おすめすふにんきよせい 雄・雌・不妊・去勢				
3	/	/				おすめすふにんきよせい 雄・雌・不妊・去勢				
4	/	/				おすめすふにんきよせい 雄・雌・不妊・去勢				
5	/	/				おすめすふにんきよせい 雄・雌・不妊・去勢				
6	/	/				おすめすふにんきよせい 雄・雌・不妊・去勢				
7	/	/				おすめすふにんきよせい 雄・雌・不妊・去勢				
8	/	/				おすめすふにんきよせい 雄・雌・不妊・去勢				
9	/	/				おすめすふにんきよせい 雄・雌・不妊・去勢				
10	/	/				おすめすふにんきよせい 雄・雌・不妊・去勢				

受-3 ペットの飼い主の皆様へ

～ ペットの飼育管理ルール ～

避難所では、多くの人達が共同生活を送っています。ペットの飼い主は以下のことを守り、トラブルの未然防止に努めましょう。

- 避難所運営本部の指示には必ず従ってください。
- ペットは、指定されたペットスペース及び方法（ケージ飼育若しくはフェンス、鉄棒等の支柱を利用したけい留）で飼育してください。
- ペットスペースは飼い主の責任で管理（受付、清掃等）してください。
- ペットを体育館や校舎等、人の居住区域に入れないようにしてください。
- ペットによる苦情・危害防止に努めてください。
- 決められた場所で排泄させ、ルールに従って処分してください。
- 餌の時間を決めて、その都度片付けてください。
- 運動やブラッシングは屋外で実施し、抜け毛はきちんと片付けてください。
- 名札等を装着し、飼い主が分かるようにしてください。
- ペットとのふれあいの時間を決めておき、夜間の接触はなるべく控えてください。
- ペットの体調不良については、かかりつけや最寄の動物病院に相談してください。
連絡先：最寄の動物病院（電話 FAX ）
- その他、ペットの救護については、静岡県被災動物救護本部に相談してください。
連絡先：（一社）静岡県動物保護協会（電話 054-251-6036 FAX 054-274-0002）
（公社）静岡県獣医師会（電話 054-251-6035 FAX 054-254-4980）

たいしよとどけ 受-4 退所届		避難所名		受付番号	
きにゅうび 記入日	年 月 日（ ）		きにゅうしゃめい 記入者名		
たいしよび 退所日	年 月 日（ ）				
たいしよひと 退所する人					
しめい 氏名		くみめい 組名	たいしよごれんらくさき 退所後の連絡先		たいしよごじゅうしよ 退所後の住所 しめいかいじ ・氏名の開示
世帯主 ご家族	ふりがな		〒 ー		どうい 同意します ・ どうい 同意しません
			でんわ 電話（ ） ー		
	ふりがな		〒 ー		どうい 同意します ・ どうい 同意しません
			電話（ ） ー		
	ふりがな		〒 ー		どうい 同意します ・ どうい 同意しません
			電話（ ） ー		
ふりがな		〒 ー		どうい 同意します ・ どうい 同意しません	
		電話（ ） ー			
備考					

※退所後に安否の問い合わせや郵便物などがあった場合に、退所後の連絡先の住所（〇〇町〇〇丁目まで）と氏名、ふりがなを開示してもよいか個人ごとに必ず確認してください。

受-5 避難所利用者名簿（手書き用）

受-5 避難所利用者名簿（手書き用）							避難 所名		
NO	登録票 の受付 番号	入所日	氏名 （世帯主に○）	受け入れ先 （滞在先）	班名	安否確認へ の対応	メモ（特に配慮 が必要なこと）	退所日	退所届 の番号
1		/				公開・非公開		/	
2		/				公開・非公開		/	
3		/				公開・非公開		/	
4		/				公開・非公開		/	
5		/				公開・非公開		/	
6		/				公開・非公開		/	
7		/				公開・非公開		/	
8		/				公開・非公開		/	
9		/				公開・非公開		/	
10		/				公開・非公開		/	
11		/				公開・非公開		/	
12		/				公開・非公開		/	
13		/				公開・非公開		/	
14		/				公開・非公開		/	
15		/				公開・非公開		/	
16		/				公開・非公開		/	
17		/				公開・非公開		/	
18		/				公開・非公開		/	
19		/				公開・非公開		/	
20		/				公開・非公開		/	

- ・本書は **避難所利用者登録票（様式集 [避-1-1]）** の見出し代わりにご利用ください。
- ・安否確認の問い合わせには **避難所利用者名簿（公開用）（様式集 [避-6]）** をご利用ください。
- ・パソコンで名簿を管理できる場合は、 **避難所利用者名簿（詳細版）（様式集 [避-7]）** を作成し、市町災害対策本部への報告などにご利用ください。

ひ な ん じ ょ り よ う し ゃ め い ぼ
受-6 避難所利用者名簿
 かいじ どうい ひと けいさい
 開示の同意がある人のみ掲載しています。

こうかいよう
公開用

ひなんじょめい 避難所名	
-----------------	--

NO	しめい 氏名	じゅうしょ 住 所 (〇〇町〇〇丁目まで)	備考	NO	しめい 氏名	じゅうしょ 住 所 (〇〇町〇〇丁目まで)	備考
1				17			
2				18			
3				19			
4				20			
5				21			
6				22			
7				23			
8				24			
9				25			
10				26			
11				27			
12				28			
13				29			
14				30			
15				31			
16				32			

食-1 食料受入簿

[illegible]

食料は、品目ごとに「食料ごとの受入・配布等管理簿」を作成する。

食-2 食料ごとの受入・配布等管理簿

避難所名

[illegible]

食-3 食料管理表

- ・ におい、外観、容器のやぶれなどの異常がないか確認してから配布する
- ・ 食料は、受け入れ後すみやかに配布し、日持ちのしないものは保管しないようにする
- ・ 配布された食料はすぐに食べ、残ったら必ず廃棄するよう、避難所利用者に伝える

[illegible]

食-4 物資受入簿

[illegible]

- ・物資は、品名ごとに「物資ごとの受入・配布等管理簿」を作成する。

食-5 物資ごとの受入・配布等管理簿

避難所名

[illegible]

食-6 物資管理表

- ・全員が同じように必要とする物資は、全員に行き渡る量がある場合に配るのが原則
- ・全員に行き渡らない場合は、要配慮者等から優先して配布すると良いでしょう

[illegible]

保-1 トイレを使うときの注意

既存トイレが使用可能で水が確保できた場合

- トイレットペーパーは便器に流さず、備え付けのゴミ箱に捨ててください。トイレに流すと詰まる原因になります。
捨てた後は、ゴミ箱のふたを必ず閉めてください。
- トイレを使ったら、バケツの水（流し用）で流してください。みんなが使う水なので、節水を心がけましょう。
- バケツの水（流し用）がなくなりそうときは、気付いた人たちが協力して、水をくんできましょう。
- バケツの水（流し用）は手洗いには使わないでください。
手洗いは、手洗い場に備え付けた水（手洗い用）を使ってください。
- みんなが使うトイレなので、きれいに使いましょう。
- トイレの掃除は、避難所を利用する人全員が、当番で行います。当番表を確認し、協力して行いましょう。

保-2 トイレを使うときの注意

災害用仮設トイレを使う場合

- トイレを使う前に、ノックや声をかけるなどして、中に人がいないか確かめてから入りましょう。トイレには、入口にある札を「使用中」にしてから入りましょう。
- トイレを使ったら、便器のそばにあるレバーをまわして、排せつ物を均してください。（レバーつきの場合のみ）
- 和式トイレの上板（便器にまたがるところ）には、2人以上で乗らないでください。
介護が必要な方は、洋式トイレを使ってください。
- 洋式トイレは、足の不自由な方や介添えが必要な方などが優先的に使えるよう、なるべく和式トイレを使ってください。
- みんなが使うトイレなので、きれいに使いましょう。
- 排せつ物がたまってきたら、気付いた人が総合受付に連絡してください。（業者に汲み取りを依頼するため）

ボ-1 ボランティア受付票

避難所名

[illegible]

ボ-2 ボランティアの皆様へ（ボランティア活動時の注意事項）

このたびは、ボランティア活動にご参加いただきありがとうございます。

皆様に、安全で気持ち良く活動していただくため、以下をよくご確認くださいをお願いします。

1 袋井市災害ボランティアセンターでボランティア登録はお済みですか？

また、ボランティア保険（※）への加入はお済みですか？

ボランティア活動時には、必ず保険への加入をお願いします。未加入の方は、袋井市災害ボランティアセンターへお問い合わせください。

※全国社会福祉協議会の福祉ボランティア保険（災害時特約付き）など

2 活動の際は、ボランティア証など身分のわかる物を身に付けて下さい。

3 グループで活動する場合は、はじめにリーダーを選出してください。

リーダーとなった方は、仕事の進捗状況や完了時の報告をお願いします。

4 体調管理には十分ご注意ください。

体調の変化や健康管理などは、皆さん各自でご注意ください、決して無理をしないようにしてください。

5 被災された方の気持ちやプライバシーに十分配慮し、マナーを守った行動や発言・言葉使いなどに心がけてください。

6 食事や宿泊場所は提供できません。

7 活動時の服装や持参品など（災害の種類や季節などにより適宜変更してください）

- （1）動きやすい服装、帽子、ジャンパー、底の厚い靴、皮手袋、防塵マスク等
- （2）懐中電灯、雨具（カッパ）、携帯ラジオ
- （3）飲料水、弁当、ゴミ持ち帰り用袋
- （4）タオル、救急用品（傷薬、痛み止め、ガーゼ、救急ばんそうこう等）、筆記用具、保険証のコピー、ティッシュ、小銭、地図、メモ帳

8 その他疑問点などがあれば、袋井市災害ボランティアセンターなどにご相談ください。

ボランティアの皆様には危険な活動をお願いすることはありませんが、万一、活動内容に疑問を感じることがありましたら、作業を始める前に、袋井市災害ボランティアセンターなどにご相談ください。

袋井市災害ボランティアセンター	電話（ ） —
-----------------	-------------------------------

避難所名 _____

そ-1 避難所の設備、備蓄物資一覧表（1/5）

品名		数	保管場所	メモ
設備・資機材	発電機			
	電源用コードリール			
	投光器などの照明設備			
	テント			
	マット			
	防水シート、ブルーシート			
	災害用トイレ(仮設トイレ)			
	蛇口のあるタンク(手洗い用)			
	小型ポンプ			
	台車			
要配慮者対策	簡易ベッド			
	担架			
	車いす			
	災害用トイレ(簡易トイレ)			
	間仕切り用パーティションなど			
	毛布			
	タオル			

そ-1 避難所の設備、備蓄物資一覧表（2/5）

品名		数	保管場所	メモ
食料・水	飲料水（ ml）			
	アルファ化米			
	粉ミルク			
	高齢者用のやわらかい食品			
	アレルギー対応の食品			
	粉ミルク（アレルギー対応）			
	ミルク調整用の水			
食器類、調理器具など	哺乳瓶			
	食器・箸（使い捨てのもの）			
	ごみ袋			
	なべ			
	やかん			
	湯沸し用ポット			
	ガスコンロとガスなど湯沸し器			
	洗剤			
	スポンジ			

【表】 避難所の設備、備蓄物資一覧表 (3/5)

[illegible]

そ-1 避難所の設備、備蓄物資一覧表（4/5）

品名		数	保管場所	メモ
衣類	衣類（男性用）			
	衣類（女性用）			
	衣類（子ども用）			
	下着類（男性用）			
	下着類（女性用）			
	下着類（子ども用）			
	妊婦用下着（腹帯など）			
ペット関係	ペットフード (犬用、猫用などで長期保存できるもの)			
	ペット用シーツ			
	ペット用ケージ			

そ-1 避難所の設備、備蓄物資一覧表（5/5）

品名		数	保管場所	メモ
事務用	机			
	いす			
	拡声器			
	懐中電灯			
	乾電池（各種）			
	ローソクなどの固形燃料			
	ライターなど火を起こす道具			
	延長コード			
	パソコン			
	プリンター			
	コピー機			
	紙類（用紙、模造紙など）			
	筆記用具			
	テープ類（ガムテープ、セロハンテープなど）			
	はさみ、カッター			
	ステープラー、クリップなど綴じ具			
	ファイル類（書類保管用）			
	避難所運営マニュアル 一式			
	ホワイトボード			

【そ-2】個別引き継ぎ事項

[illegible]